KSRS NEWS Letter

Vol.11
2026.3

教育支援事業

● 講演会の開催



【第12回　KSRS Spine Research】 2025年11月26日(水)
共催：日本臓器製薬株式会社 様

《特別講演》
座長：済生会横浜市東部病院　骨代謝センター／運動器センター　センター長
整形外科部長　**福田 健太郎　先生**
演者：秋田大学大学院医学系研究科　医学専攻病態制御医学系
麻酔・蘇生・疼痛管理学講座　教授　**新山 幸俊　先生**
「高齢者の周術期管理 ～麻酔科医から見た術前・術中・術後管理のコツ～」



【KSRS Webセミナー】 2026年 3月4日(水)　Webex　共催：第一三共株式会社　様

《Surgery session》
座長：北里大学医学部　整形外科学　診療教授　**井上 玄　先生**
演者：さんむ医療センター　副院長／整形外科部長　**石川 哲大　先生**
「超音波ガイド下頚椎神経根ブロックの実際」

《Medication session》
座長：東海大学医学部医学科 外科学系整形外科学　教授　**酒井 大輔　先生**
演者：順天堂大学医学部　整形外科学講座　先任准教授／
脊椎脊髄センター　副センター長　**野尻 英俊　先生**
「骨粗鬆症性椎体骨折治療のパラダイムシフト」

研究支援事業

【論文掲載】
骨粗鬆症性椎体骨折患者に発生する合併症と初診時栄養状態の影響Preliminary Report
（昭和医科大学横浜市北部病院　大下 優介 先生）
→ Journal of Spine Researchに掲載されました。



現在計画・進行中の臨床研究

● KSRS臨床研究（多施設研究）

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

《計画中》

◎腰椎椎体間固定術における術前栄養状態と術後転帰に関する多施設研究（案）

術前の栄養状態は、手術部位感染や合併症、再手術率と関連があるとされる。
近年、脊椎手術でも骨密度検査を行い、必要に応じて骨粗鬆症治療をするBone Health Optimizationが提唱されている。
しかし、腰椎椎体間固定術における栄養状態の評価は、単一施設の報告が数編あるにとどまっている。

➡術前栄養状態とBone Healthが術後の骨癒合率や再手術率に及ぼす影響を検討することを目的とする。

今後も様々な多施設という特性を活かした有効的な臨床研究を実施して参ります。
ご意見、ご要望のある方は是非KSRS事務局までご連絡ください。

● 令和6年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただけます。
URL：https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP ： https://kanagawa-sekitsui.jp/
X（旧Twitter）：@kanagawa_spine
Facebook ： @kanagawaspine

特定非営利活動法人 神奈川脊椎研究協会 事務局　Kanagawa Spine Research Society (KSRS)